

セイブ・ザ・宗谷！ 腐食進む旧南極観測船

SAVE THE SOYA



去る11月8日に撮影した宗谷の全景。

南極観測船として親しまれた宗谷は、昭和53年10月に解役された後、翌54年5月から船の科学館で一般公開されているが、海上に浮かべての展示のため、各部に腐食や痛みが生じており、できるだけ早い時期の整備工事着工が求められている。ここでは編集部撮影の近影と、船の科学館がリリースした船体各部の写真を紹介しよう。保存・整備には多額の費用が予想され、船の科学館では平成15年3月から募金を募っているが、去る10月末までに集まったのが373件、312万円で、今後とも船と海を愛する人々から、より多くの募金を仰ぎたいところである。募金の宛先は以下のとおり。

- 銀行振込：みずほ銀行 口座名：(財)日本海事科学振興財団
- 郵便振替：00190-5-591442 加入者名：船の科学館



〈上〉左舷バルジの2、3番区画。この付近の腐食が最も激しい。

〈中上〉前部マストの基部を減揺タンクの内部から見たところ。

〈中下〉前部マストの内部。内側の腐食が進んでいる。

〈右〉減揺タンク内部。全面に腐食と錆が目につく。

